

## 地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名：小規模多機能型居宅介護事業所ほほえみ

サービス種類：グループホーム ・ 小規模多機能型居宅介護

地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

地域密着型通所介護 ・ 認知症対応型通所介護（該当に）

日時：12月開催分 文書開催

場所：

委員：4人

利用者代表	0人	知見を有する者	2人
利用者家族	0人	大田市職員	1人
地域住民の代表	0人		
事業所職員（職名：管理者）			1人

### 1. 報告事項：

#### （1）利用者の状況

##### ①入所者、登録者、利用者の人数

（小規模多機能居宅介護は、通い・訪問・泊りの利用者状況を加える）

##### a) 登録者数及び男女比

	10月	11月
登録数（月末時点）	26名	25名
男性：女性	7：19	7：18

##### b) 地域

	10月	11月
仁摩町	22名	21名
温泉津町	4名	4名

c) 要介護度

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	変更申請
10月	0	0	8	6	7	3	2	0
11月	0	0	8	6	5	4	2	0

d) 年齢構成

	65歳未満	65歳以上	75歳以上	85歳以上	95歳以上	平均年齢
		75歳未満	85歳未満	95歳未満		
10月	0	0	2	22	2	89.8歳
11月	0	0	2	21	2	89.6歳

(2) サービスの提供状況

① サービスの提供回数

a) 週当たりの平均サービス提供回数

	10月	11月
通いのべ人数/月 (平均)	384人 (12.3人/日)	388人 (12.9/日)
宿泊のべ人数/月 (平均)	152人 (4.9人/日)	171人 (5.7人/日)
訪問のべ回数/月 (平均)	271回 (8.7人/日)	256回 (8.5人/日)
のべ利用回数/月	807回	815回
のべ提供日数/月 (入院日数除く)	784日	769日
登録者一人当たり の平均利用回数	7.21回/週	7.42回/週

b) 長期宿泊および過少サービスの状況

1ヶ月以上の連続宿泊の方1名。特養入所待機中ですがまだ順番がきま

せん。週平均4回以下の過少サービス状態の方4名がおられました。過少サービス状態の方については各利用者の心身状況・生活状況、本人・家族の希望を報告し、委員より不適切指摘はありませんでした。

c) 電話による安否確認の状況

- ・ 過少サービス状態の方のうち1名は継続して、サービスを提供しない日の電話による安否確認を行っていることを報告しました。

d) 新型コロナウイルス感染症対策

項目	内容
通い	<p>通常対応中 → 感染者発生に備え、発生時の体制周知準備中</p> <p>東京・大阪・神戸からの往復介護家庭あるが健康チェックを行ったうえで通常対応。</p> <p>事業所内での軽度レク、外出レクを一部再開。</p> <p>11月に感染症を疑う体調不良者1名あり、全館消毒、全家庭に情報周知、利用者マスク着用。その後異常なし。</p> <p>利用自粛</p> <p>1名：東京外出。ご家族より1週間の自粛申入れあり。希望のあった買物支援にサービス変更。生活・心身機能に支障なし。</p>
泊り	通常対応中
訪問	<p>通常対応中</p> <p>職員で県外往来ある者は1週間の訪問担当見合わせ指示。</p>
面会制限	<p>感染拡大防止のため面会は原則お断り</p> <p>やむを得ない面会は、玄関で対応</p> <p>オンライン面会用 iPad 整備済 全体に案内紙配布</p> <p>今のところ利用相談なし</p>
人員体制	<p>現在17名配置(2名復職)</p> <p>介護職員1日約8~9名勤務</p>
職員の対応	<p>体調不良者なし 事務所、休憩室にはアクリルパネル設置</p> <p>自宅での検温・マスク着用</p> <p>健康状態の確認が取れない県外からの来訪者ある利用者宅へはフェイスシールド使用。</p>
業者の入館	<p>玄関対応可能な業者は玄関対応</p> <p>その他業者は玄関で体温測定後に消毒、マスク着用して入館</p>

備品の状況	マスク・消毒液・プラスチック手袋 → 十分量あり 予防衣・フェイスシールド：多数在庫あり 手洗い用せっけんをセンサー式自動ポンプに変更 通い時の体調不良者は個室対応、アクリルパネルも活用。
-------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------

### (3) しつらえ・環境作り

#### ① 過ごしやすい空間作りの取組

10月11日	壁絵更新「ハロウィン」	11月10日	壁絵「楓」
10月26日	大国文化展作品作り	11月16日	浄化槽点検
10月29日	サンククリーン害虫防除	11月29日	クリスマス飾り貼り絵
11月3日	塗り絵、貼り絵更新「秋」		

#### ② 感染症予防のための取組み（新型コロナウイルス感染症対策を含む）

感染症の発生はありませんでした。

毎日の管理 : 換気・手すり等消毒（2回）

空間洗浄機（次亜塩素酸水）の終日稼働

週2回の管理 : 次亜塩素酸ナトリウムを使用した床拭き

### (4) 地域と職員のかかわり

#### ① 参加行事

新型コロナウイルス感染予防対策のためすべて休止

#### ② 実習受入れ

なし

#### ③ 民生委員・関係機関等との連携

なし

### (5) 利用者の生活に地域とのつながりをもつ取組

#### ① 利用者個別の地域行事参加支援

なし

②利用者全体の外出支援・地域行事参加支援

10月23日	馬路ドライブ	1名
11月14日	大国文化展搬入	1名
11月15日	大国文化展	1名

③通院支援

定期受診日の予約票保管、受診促し	14回
処方薬の受領、支払い代行	13回
体調不良時の主治医への状態報告、受診手配	3回

④町内買い物代行

7名を継続支援中です。

⑤町内支払い代行

法人預り金管理規程に準じてお金を預り、支払い代行しました。

購入支援の主な内容は、受診代、薬代、紙おむつ代、食材購入代でした。

(6) 防災・災害対策

10月20日に消防訓練を実施しました。利用者12名 職員7名 3分29秒

11月9日に防災訓練を実施しました。利用者8名 職員3名 約25分

避難準備高齢者等避難開始情報発令、潮川水位上昇湯迫橋を利用できない状況想定。健康公園避難。

(7) 質を向上するための取組

①研修（職場内外）の実施・参加

10月8日	事業所ミーティング	利用者に関する情報伝達・小規模計画評価
11月12日	事業所ミーティング	利用者に関する情報伝達・小規模計画評価

## ②介護事故の発生状況

	発生日	事故の状況	けが等の程度	受診等の有無
1	なし			

## (8) 人権・プライバシーの保護

### ①身体拘束の有無

実施の必要性はありませんでした。

### ②虐待防止活動（大田市介護相談員）

12月以降、新相談員が来所される予定です。

### ③苦情相談

苦情相談はありませんでした。

## 2. 意見・アドバイス

### (1) 新型コロナウイルス感染症対策への助言・要望等

知見者：松江、出雲からの面会はどう対応されますか？

管理者：面会については原則館内での面会はお断りしています。玄関先での面会やオンライン面会にて代替しています。

ご家族には松江、出雲には仕事、介護で往復されている方が複数おられます。大田市内と比較すると感染のある地域ではありますが、報道によればある程度経路のはっきりしている段階なので利用に特段の制限は設けておりません。

この後同地域で大幅に市中感染というような状況になれば県外と同様の対応に引き上げることも予想されます。ただし、仕事での往復のケースでは制限が家族全体の死活問題にもなり得るため、個別に相談していく考えです。

市職員 : オンライン面会はどのくらい利用がありますか？

管理者 : 今のところご希望はありません（11 月末時点）。年末年始に希望があると予想して、案内文書の配布等しています。

市 : 年末年始の対応、状況を教えてください。

管理者 : ほとんど通常とおりの対応をしました。

家族 : 利用者本人ないし家族の県外訪問を元に 1 週間の利用自粛をされている方もいるが、冠婚葬祭などやむを得ない事情も多く、利用者側の自粛対応も限界に近い。

事前に訪問時の態様（人との接触、会食、利用輸送機関など）を細かくヒアリングする事で、施設側で利用可否を決定する方式がより客観的ではないか？

管理者 : 利用者・職員全体の安全性と個別の事情の両立は非常に難しいところです。職員にも行動自粛を求めています但し限界があることを感じています。

自粛をされたご家庭でも入浴などの面で課題を抱えておられますが、事業所の安全を優先して下さったと思います。しかし、すべてのご家庭で事情が違うため判断は異なると思います。

県をまたいだ移動を控えているご家庭が多いですが、東京、大阪、兵庫、広島方面との往来は継続してあります。既に県内でも感染は発生しており、大田市民が一人たりとも感染が発生している出雲地域へ出かけていないというようなこともまず考えられません（受診、買物等）ので、残念ながら感染リスクをゼロにする生活をすべてのご家庭に選択していただくことはすでに困難かと思えます。

感染から約 5 日程度での発症が多いようですので、お出かけがある場合は 1 週間の様子観察期間、非接触期間を設けるよう

お願いしています。ただし、その間一律にサービスを減らすだけでなく、泊りや訪問を増やすことでご家族が介護してきた時間帯もカバーする方法を考えていく努力もあわせて行っています。その関係もあって泊りサービスの稼働が増加しつつあります。その関係もあって泊りサービスの稼働が増加しつつあります。現在利用者登録枠に余裕があり、通い、泊り枠に余裕がありますので、1 週間のお泊りの相談もして頂ければご都合が合わせられるかもしれません。

市職員 :

## (2) 利用者状況への助言・要望等

知見者 : 年齢構成、平均年齢は 88 歳前後ですが、今後はどうなると予想していますか？

管理者 : 要介護認定を受ける年齢は 80 歳～84 歳で約 3 割、84 歳～89 歳で 4 割強というのが全国的な数値のようです。当事業所では介護保険サービスを利用して 3～4 年程度の方が利用開始される傾向ですので、正確なデータは持ち合わせていませんが地域では概ね 82～85 歳くらいから介護保険サービスを利用されるはじめておられるのではないのでしょうか。このことからすると大田市でも市、保健所、各医療機関等の取り組みによって、全国平均に近い状況かと思えます。着実に成果が出ていると思いますので、要介護認定を受ける方の年齢は高まっていくと予想しますので小規模サービスを利用される方の平均年齢も上がっていくのではないのでしょうか。

知見者 : 独居 7 名ですが、介護度 1、2、家庭での生活は？

管理者 : 独居の方でも軽度要介護の方と重度要介護の方では支援内容が異なります。

軽度の方は主として買物、調理、洗濯などの訪問サービスと通いサービスの入浴、体操、食事を組み合わせておられることが多いです。

重度の方は上記に排泄介助が増えていく印象があります。介護度に関わらず受診、薬の管理、服薬介助、弁当配達などの管理、支払いを含めた金銭管理、ごみ出し、トイレの汲み取り依頼、などにニーズが多いです。当事業所では独居の方は強い不安や行方不明等、BPSDのような症状で困っておられる方は少ないですが、ときおり不安が増してご近所の方から連絡を受けることもあります。

### (3) サービス提供状況への助言・要望等

知見者 : 私も高齢です。転倒には注意してあげてください。

家族 : 防災（火事等）、自然災害などの訓練は行き届いているが、利用日以外で在宅時の詐欺防止、交通安全啓発も必要に思います。防犯や交通安全についても家族内での問題として扱うにはリスクが増大しているように思います。施設内での取り組みも希望します。

管理者 : 高齢者の特殊詐欺被害、交通事故被害は県内でも問題になっており、市内有線放送でも連日注意を促しておられます。駐在さんに相談してみたいと思います。

### (4) その他の助言・要望等

家族 : 私事になりますが、母の認知症進行が気になります。いくつかの条件が重なったときにどんな行動にでるか予想しづらくなっています。家族を交えた認知症ケアの勉強会開催も検討願います。

管理者 : 承知しました。恐らく認知症が初期から中期へ移行されていく過程での関わり方や支え方に悩みをお感じではないかと思います。機会作り、情報提供を行います。

知見者 : 次回会議までに集計いたします。大変だと思imasるので、選択の丸付けのみでも十分です。次回会議にて皆様からご意見、コメントを頂く時間を設けたいと思imasます。

市職員 : これからの時期は、インフルエンザやノロウイルスといった感染症も流行するので、今以上に感染症対策を徹底して頂き、従事者、利用者全ての方が元気に過ごされることを願imasます。

#### 4. 次回開催

第6回 令和3年2月18日(木)10時から開催の予定です。

新型コロナウイルス感染対策の状況によって変更の可能性あります。